

## ②D—5 幼児の精神発達の基準に関する研究（I）

お茶の水女子大 津守 真  
磯部 景子

1. 幼児の日常生活の中にあられるままの行動を観察記録し、観察記録の中から項目を作成し、幼児の精神発達の基準を明らかにしようとした。項目は運動・探索・社会・生活習慣・言語の分野にわたり、運動について32項目、探索について51項目、社会について67項目、生活習慣について29項目、言語について49項目、計228項目である。

2. 被験者は都内884名、地方321名、計1205名で、年齢は2歳9カ月から7歳2カ月にわたる。年齢区分は3歳、3歳6カ月、4歳、4歳6カ月、5歳、5歳6カ月、6歳、6歳6カ月、7歳とした。

記入方法は、幼児の母親に一項目ずつ説明をしながらその場で記入してもらった。

各項目は、年齢区分ごとに通過率を算出した。

3. 各項目の通過率を算出した結果、発達を明らかに示す項目と不明な項目のあることがわかった。